

第7回 LCV「諏訪圏情報BOX」

- **放送日** 令和4年9月27日(火)、10月4日(火)
- **テーマ** 「諏訪湖創生ビジョン」について
- **出演者** 諏訪地域振興局企画振興課 鮎澤 宏和

○ 聞き手とのやりとり(概要)

(Q) 諏訪湖畔も爽やかな風が吹き抜ける時期となりました。10月1日は「諏訪湖の日」だそうですが、これはいつ制定されたのですか。

(A) はい、令和元年に「諏訪湖創生ビジョン」を官民協働で推進している「諏訪湖創生ビジョン推進会議」で制定しました。

(Q) 「諏訪湖の日」を制定したのはなぜですか？

(A) 諏訪湖は以前、水質が急激に悪化した時期がありました。緑色のアオコやユスリカが大量発生し、大きな問題となっていたのです。現在は地域の皆さんの努力や、下水道の整備によって、水質は改善傾向にあります。一方で、諏訪湖がきれいになるにつれ、湖に対する関心が下がっているのではないかとされています。また、最近、ヒシなど水草の大量発生や、貧酸素など新たな課題も発生しています。

(Q) 美しい湖を守り続けるということは、簡単にできることではないですね。

(A) そうですね。そこで、諏訪湖創生ビジョンの掲げる20年後の将来像「人と生き物が共存し、誰もが訪れたいくなる諏訪湖」をめざして、より多くの方が諏訪湖に関心を持ち、親しむきっかけになるよう、諏訪湖の日を制定しました。

(Q) なるほど、そのような経過があったのですね。なぜ10月1日なのでしょう？

(A) 水質の改善には、下水道の整備が大変重要な役割を果たしてきたのですが、約40年前の昭和54年10月1日が、諏訪湖流域下水道の一部利用を開始した日なんです。諏訪湖浄化に第1歩を踏み出した記念すべき日ということで、10月1日になりました。

- (Q) 「諏訪湖の日」にあわせて、9月から10月にかけては「諏訪湖の日プロジェクト」という企画があるそうですね。
- (A) はい。10月1日だけでなく、9月～10月に行われる、様々な団体の諏訪湖に関連した取組を「諏訪湖の日プロジェクト」として、集中的に情報発信しています。今年も様々な団体が感染対策を工夫して、企画を考えていただいています。
- (Q) なるほど。どのような企画があるのでしょうか？
- (A) はい、10月1日には、「諏訪湖の日」制定のきっかけとなった諏訪湖流域下水道と諏訪湖の関りについて、諏訪市立四賀小学校での出前授業を中心に、オンラインイベント「諏訪湖の日フォーラム」を開催します。同じ1日には、「諏訪湖まるまるごみ調査」、16日には湖周の一斉清掃も予定されています。また、諏訪湖周をウォーキングする「諏訪湖DEウォーク」、諏訪湖周のサイクリングロードを利用する「スイッチ」も開催中です。23日には3年ぶりに第34回諏訪湖マラソン大会が開催されます。
- 詳しくは県諏訪地域振興局の「諏訪湖の日」ホームページをご覧くださいければと思います。
- (Q) そうですか。10月中も盛りだくさんの企画がありますね。さて、「諏訪湖創生ビジョン」ですが、今年は策定から5年目を迎え、見直しの時期ということですが。
- (A) はい、「諏訪湖創生ビジョン」は、先ほどお話したように20年後の将来像を示したものです。ビジョンを推進する中で、策定時には予測できない変化が生じることもあるため、5年毎に施策を見直すこととしています。現在、「諏訪湖創生ビジョン推進会議」にワーキンググループを設けて、検討をしています。今後、住民の皆さんにもご意見をお聞きする機会を設ける予定ですので、その際はぜひご意見をお寄せいただければと思います。

諏訪湖に関する企画が多いこの時期、諏訪湖を訪れていただき、皆さんの思い思いの方法で、諏訪湖に、さらに親しんでいただきたいと思います。